

CONTENTS

5 気になる眼鏡情報 LOVE GLASSES

俳優光石 研さんの私物眼鏡 10 **好きなスタイルはずっと変わらない**

28 眼鏡の世界もSDGsの動きが加速

33 陽 眼鏡は相棒



- 34 マウンテンバイク選手 永田隼也さんインタビュー
- 38 アスリート×パフォーマンスが向上する眼鏡
- 40 建築家 寺田尚樹さんインタビュー
- 44 薄色カラーレンズとデザインコンシャスなフレーム
- 46 ビーチとマリアージュ
- 50 もの作りの現場を訪ねて The Light
- 52 シューシャイナー長谷川裕也さんインタビュー
- 56 靴とめがね絶妙コーディネート
- 60 一棟貸しの宿 SABAE MEGANE HOUSE
- 64 相棒リーディンググラス

82 こども眼鏡



Cover Photo Yasutomo Ebisu

©WORLD PHOTO PRESS (禁·無断転載) 令和4年7月20日発行

- ●今号で掲載している眼鏡フレーム・サングラスに関する問い 合せは、126ページの【メーカー &ショップ問い合せ先リスト】 をご覧下さい。
- ●掲載されている商品の価格は、 2022年5月現在の調べによるものです。また基本的に消費税(10%)を含んだ税込み価格の表示です。
- 94 MODE OPTIQUE一押しブランドピックアップ
- 109 春の展示会レポート
- 118 新作紹介 JUST WEAR IT!

126 問い合わせリスト

127 バックナンバー



TAHLEM

アーレム

現在、メガネを入れる袋は使い捨 てが主流だが、アーレムは2022年 の新規製造分より新しいメガネ袋 を導入。PEVAと呼ばれるポリエ チレンビニール由来の素材で、有 害物質を含まずリサイクルも可能 だ。半透明でマチがあり、密封もで きて繰り返し使える。間グローブ スペックス エージェント

This is not a

エコバッグ

メガネを収めるケースにも、環 境に優しい素材を使用したもの が採用されはじめている。



ラスチックを使用。高級感のある色と質感で プラスチックに見えない点がポイントだ。写 真のサーモントは、貼り合わせたアセテー トをブロウに採用し、スリットを入れて下の 色をチラ見せ。「SMILEY」価格5万5000円 間トゥーランドット





Tonysame:

トニーセイム

2021年秋から始まったトニーセイムのアップサイクルプロジェクトは、眼鏡店 や工場などから回収したフレームや廃材を利用して、アーテイストとともにアー ト作品を制作する試み。第2弾はグラフィックアーティストのWOOD氏とコラ ボ予定だ。写真はアルミ缶を使ったWOOD氏の作品。個トニーセイムジャパン



Tesca LUNETIER

レスカ・ルネティエ

1950、60年代に製造されたヴィンテージのアセテート 生地を使用した「アップサイクリング」コレクションの 1本。厚さ8mmのレトロな風合いの生地がクラウンパ ントに映える。「CROWN PANTO」価格6万6000円 間グローブスペックス エージェント



メガネもアーススマート

土に還るバイオアセテートや不用品に新たな価値を与えるアップサイクルなど、 メガネ業界では環境に配慮したアーススマートな取り組みが盛んだ。 ここでは各ブランドのSDGsな取り組みをまとめて紹介しよう。

Photo/鶴田智明 Tomoaki Tsuruda (WPP) Text/藤井たかの Takano Fujii

Rimsync eyewear

リムシンク アイウェア

リサイクルしたペットボトルをプ レスして粉砕して、新たにサング ラスとして成形。ペットボトル1 本から、概ねメガネをひとつ作る ことができ、フレームが壊れた場 合は回収してトレイなどに再成型 することもできる。フレーム重量 25gと軽いのも嬉しい。「EC-01」 価格1万9800円間リム精工



慣れ親しんだペッドボトルをリ サイクルした素材を使った、メ ガネも誕生している。



Tafont ラフォン

ラフォンではティエリーの提 携工場にある自社のヴィンテ ージ生地のストックから数種 類をピックアップ。それを細 かいチップにしてマツケリ社 やラエス社製の新しい顔料チ ップと合わせることで、色鮮 やかな「アップサイクルアセ

テート」という新たな素材を

誕生させた。間イワキメガネ



アップサイクル

不用品や廃棄物など を、アイデアやデザ インによって新しい 製品にアップグレー ドする取り組み。



木材パルプと

スにもエコな流れが リニュー」を開発

では新たにサスティ

、環境を配

今年

29 MODE OPTIQUE



JACQUES MARIE MAGE

ジャックマリーマージュ

迫害を受けながらも戦った聖人ゼフィリヌスからインスピレーションを得たモデル。ヴィンテージを基調としながらも遊び心のあるパリジャンシェイプ。右「ZEPHIRIN COLNoir 5 (RX)」価格8万8000円、左「ZEPHIRIN COLNoir 7 (SUN)」価格9万3500円 個SGグローバルリンク



レスカ・ルネティエ

レスカが創業した1964年当時のヴィンテージクラウンパントを再現したモデル。厚みのある8 mm生地のサングラス仕様。重厚でクラシカルな雰囲気を楽しめる。
[VINTAGE1964 8mm Col.100]
価格4万700円
働グローブスペックスエージェント







PRECIOSA

プレシオーサ

オランダの老舗ブランドがリリースする何気に珍しい ブルーグレー系のフレームは、クールで知的な印象を 与えたいときに最適。コンパクトな造形のお陰で、堅苦 しさではなくある種の慎ましさを感じさせてくれるの は流石だ。「705|価格 4 万5100円間ポンメガネ大宮



MASAHIROMARUYAMA マサヒロマルヤマ

チタンとアセテートの異素材コンビ「コラージュ」 シリーズの7月に発売される新作。歪みや角を極僅か に残す無二の造形は、鯖江の繊細な職人技の賜物だ。し かも掛けるとむしろ自然に映るのだからタマラナイ! 「MM-0070 No.1」価格5万5000円間マサヒロマルヤマ



NERD MIND

ナードマインド

履ける大定番。とくにこのネイビー色は、2~3泊

の旅行や出張を靴一足で済ませたいときにも重宝

するので隠れファンが多い。「CHAMBORD |価格

7万1500円億パラブーツ青山店 ☎03-5766-6688

EXILE/三代目JSB・岩田剛典がプロデュ -スする今最もアツい日本ブランドの一足。 風貌はクラシックそのもので底付けも伝統 的なグッドイヤー。なのにモードやストリ - トな装いにも難なくマッチするため幅広 い支持を得ている。「uno」価格 4 万2680円 間マドラスお客様相談室 20120-30-4192





Yohei Fukuda ヨウヘイ フクダ

我が国を代表するビスポークシューメーカーが放つ、 飛び抜けた品質と美しさを誇るレディメード。全体の フォルムも細部のデザインも正に「洗練」の一言に尽き る。経年で色味がどう変わるかも楽しみ。「Ebony」価格 26万4000円間ヨウヘイ フクダ 203-6804-6979



Y CONCEPT ワイコンセプト

18金厚メッキの光沢が上品な一本。ネジ不使用かつフロ ント上部のバーとレンズを分離させた究極のミニマル構 造が、近年のヒンジの改良で更にスッキリした印象に進 化。素材がβチタンなので掛け心地はとにかく軽い。 「V304 Ken|価格7万4800円筒ワイコンセプト

ALDEN

オールデン

アメリカ製革靴の代名詞的存在であるオールデン。なかでもこのコイ ンローファーは暑い時期こそ活躍の場が広がる一足だ。アッパーには もちろん、このブランドの真骨頂・人気絶大の馬革=コードヴァンを贅 沢に用いている。「99162」価格14万1900円億ラコタ ☎03-3545-3322





RANDOLPH Engineering

ランドルフ エンジニアリング

米軍御用達としてあまりに有名なブランドの代表作。 特徴的なバヨネットテンプルについ目が行きがちだが、 クリアな視界が得られるオリジナルのガラスレンズや 堅牢で美しいメッキ処理も評価したい。「AVIATOR」 価格3万5200円間サンライズエージェント

Shose & Eyewear Coordinate

靴とめがね

身体機能のサポートは当然。更にはファッション面でも妥協したくない…… そう、靴とめがねは何気に同じ発想で選ぶアイテム。 今回はそれらの「似たもの同士」を詰め合わせ。共通点はいったい何? 謎解き的にご覧あれ!

Photo/鶴田智明 Tomoaki Tsuruda(WPP) Text/飯野高広 Takahiro lino

JOSEPH CHEANEY

ジョセフ チーニー

在宅勤務や装いのカジュアル化がどんなに進んでも、絶対 にもっておきたいのが黒い内羽根式キャップトウ。いかに も英国靴らしい質実剛健な顔を有したこのモデルは、格式 の高い場でこそ真価を発揮する。「ALFRED」価格7万



MAL

シンプルで優しい表情、そして縄手や丸い玉型など古典的なディテー ル満載。素材は、昨今加工できる人も少なくなってしまい希少価値も高 い日本が誇る合金・サンプラチナだ。レンズを替えつつ一緒に歳を重ね よう! 「ラウンド_マンレイ_ナワテ」価格2万6400円間オプト.デュオ



56

57 MODE OPTIQUE







ますながのこどもめがね

フロントからヨロイまでチタン一体成形。丁番を削り出し加工で作り、ロウ付け部分をなくすことで強度がアップ。また型崩れしにくい鼻パッドが正しい距離をキープする。「J-61 Col.#49 BK/YL」価格2万3100円®MASUNAGA1905 83 MODE OPTIQUE

Photo/鈴木陽介 Yosuke Suzuki Hair&Make-up/廣瀬留美 Rumi Hirose Styling/田中美和子 Miwako Tanaka Model/わたなべろく Roku Watanabe Text/モード・オプティーク編集部 MODE OPTIQUE



avame

「展示会での体温ある会話と 直接お顔を拝見できることは、 アイウェアをデザインするう えで貴重な機会になります。 現状は生産に長くの時間を要 するため、先行して動いてい たプロダクトを中止し、馴染 みのある部品を採用した構成 に変更して、新作のクオリテ ーを担保しました」



YELLOWS PLUS

「今回は展示会で実際にお会いしなければ 話せないことがあると気付きました。眼鏡 を手に取り、良いも悪いもご指摘いいただ いたことで、これまで以上にデザインへの 意欲を感じています」。新作では1960年代後 半頃の大ぶりシェイプをYELLOWS PLUSらしく表現した。

000



春の展示会レポート



I.ENOMOTO

「私がデザインするアイウェアは実 物を手に取っていただいて、初めて 伝わる部分が多いため、これからも 対面での展示会を大事にしていきた いです |。新作ではパイロットシェイ プのダブルブリッジに、ハンドワー クのクリアラッカーをあしらった一 歩先ゆくデザインに挑戦。





デザイナー

propo

「都市部からではありますが、少しずつ日常を取り戻し てきていることを実感できたのは良かったです」。新作 は小ぶりで肉厚なアセテート素材のクラウンパントな ど、旬なサイズ感と時代感を表現した。



megane and me

「直接的に人と関わる機会が減ったなかで、対面でのコミュニケーションのやりやすさ、意思疎通 の早さ、伝えやすさを再認識させられた展示会でした」。写真はブランドアイコンとなった「GEO」 に次ぐ、幾何学的シェイプの多角形を再解釈した新モデルの「LUCA」。







リエンスセンターで最先端の測定 機器やレンズを体験。色の移行スピ - ドを大幅に改善した次世代調光 レンズ 「ツァイス フォトフュージョ ンX」や、高精度測定・最適な処方 度数・レンス設計を最適化する最新 技術を合わせた「ツァイス スマート ライフプローなどを発表した。



東京店 店長 デザイナー **FACTORY** 長谷川寿寛さん 〇〇〇 青山嘉道さん

「普段は直営店での開催で限られたお客さましか来られませんが、今回は新 しいバイヤーやメーカーの方と多く出会うことができました。展示会は新し い何かを探しに行く場所。だから僕たちは、展示会をワクワクや驚きの"モ ノやコト"を見せる場にしていこうと思います|(青山嘉道さん)

Kojimachi Optical Fair 対の合同展示会が開催された。



MYKITA

「展示会では実際にフレームをご覧いた だきながら、デザインについてお伝えし たり、実際にお客さまが選んでいる様子 を見たりすることで、今の日本でのトレ ンドや、そのお店で売れやすいモデルの 傾向などを詳しく知ることができ、良い 機会となりました」(土方美怜さん)



theo

「営業でまわっているのでお店 の方々とは継続的に会っていま したが、やはり展示会のワクワ クさは久々で楽しかったです。 これからもバイヤーの方、メー カーの方、ジャーナリストの方 などが集まれる機会が増えれば 嬉しいですね」。写真は3色のア セテートで楽しさを表現した swing (ブランコ) シリーズ。





DJUAL

「この春はコロナ禍以降で最も多 くの方が来てくれて、直接、商品 説明や意見交換ができるのがあり がたかったです。展示会が以前の ように業界一大イベントとして盛 り上がることを望みます!」。新作 は幾何学的な構成を用いて、収ま りの良いフロントをデザイン。





さまざまな素材を大胆に組 み合わせたコンビネーショ ン「コラージューシリーズ に新型が登場。ウェリント ンとボストンの2モデル各 3色あり。抜け感のあるク リアカラーにアシンメトリ ーのディテールが映える。

114





今期のArumamikaのテーマは「DISCORD (不協和音)」。フロ ントはラウンドメタルとレクタングル (長四角形) のプラスチッ クリムを合わせたコンビネーションで、異なるスタイルをレイ ヤードすることで不協和音を表現している。

115 MODE OPTIQUE

Published by **WORLD PHOTO PRESS**

Publisher of Mono magazine, World Wristwatch, Figure Oh. Mode Optique, and World Mook series.

Head Office Location

Az-Asagaya,1-12-1 Asagayaminami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan

Editorial Department

TeI:03 (6383) 2331 Fax:03 (6383) 2583

Sales Department

Tel:03(6383)2390 Fax:03 (6383) 2574

Publisher

Kesaharu Imai

Editor

Kaoruko Matsuzaki

Staff Photographer

Tomoaki Tsuruda Takenori Aoki

Designer

BASE

Advertising Director

Kazuo Tsuboi

Production Director

Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

Hiroshi Sasagawa

DTP

BASE

Nagi

Print

Dai Nippon Printing Co.,Ltd

Correspondent Washington, D.C. Bureau (Pictorial Press International)

Mikako Burks

ワールドフォトプレスの出版物は インターネットでもご注文いただけます。

monoshop.biz

ワールドフォトプレス総合サイト 「モノ・マガジンweb」 monomagazine.com



モード・オプティ-

Vol.53





北陸新幹線開通など話題を集める福井。 今号でも鯖江の工場や宿泊ハウスなどを取材しました。 次号から鯖江ニュース企画を予定中!

令和4年7月20日発行

発行人●今井今朝春

編集人●松 崎 薫 子

販売部●

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1 アズ阿佐ヶ谷

編集部● TEL 03(6383)2331 FAX 03(6383)2583 メディアビジネス部●

03(5929)7682

03(6304)9443

03(6383)2390

03(6383)2574

印刷所●大日本印刷株式会社 © WPP 2022(禁·無断転載)

- ●造本には充分注意しておりますが、万一、落丁·乱本などの 不良品がありましたら小社[販売部]宛にお送りください。送 料小社負担にてお取り替えいたします。
- ●本誌掲載記事の無断転載、複製、転写を禁じます。*本文中 の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。*本誌に掲載さ れている商品、価格、問い合わせ先は2022年5月現在の調べ によるものです。